

トマ
ト作
障害

熱水 土壌消毒が効果

【神奈川県・さがみ】JA
さがみ 千葉から視察

【神奈川県・さがみ】千葉県の農家ら8人がこのほど、JAさがみ管内のトマト栽培農家2戸を訪れ、熱水土壌消毒の活用状況を見学した。

視察に訪れたのは、同県長生郡の農家と農林振興センター普及員、村役場職員。同地区は「環境と調和した安心、安全なトマト」をモットーに、長生トマトのブランド名でハウストマトを出荷している。昨年からは連作障害対策として熱水土壌消毒を導入。今回、一足早く2002年度から導入している同JAで情報交換をしようと訪れた。



ハウスの中で見学者を前に説明する関水さん(左)

見学を受け入れた農家 水毅さん(60)は「熱水消毒してからはネコフセンの一人、大和市福田の関

チュウの心配はなくなると説明。見学者から思わず「うらやましい」という声が上がった。熱水消毒を施して育ったトマトを見て見学者は、消毒の頻度や消費者からの反応、かん水や追肥など、具体的な栽培方法を尋ねていた。関水さんは「熱水消毒は防除だけでなく、雑草も出なくなり、根が丈夫になるなどの効果がある。ただ、従来とまるっきり作り方を変えなくてはならない点もある」とアドバ